

第16号 2016.7.20 発行
 発行者：株式会社協進印刷
 編集者：JO 編集委員会

漢字は書いても覚えられない！ 障害のある子と過ごした日々が

「道村式漢字カード」の原点

点字学習を支援する会 会長 道村静江さん



長年盲特別支援校の教員を務める傍ら、晴眼者の点字学習教本である『点訳便利帳』、視覚障害者の漢字学習教本である『視覚障害者の漢字学習』、視覚障害者の漢字学習法を応用した『道村式漢字カード』などの画期的な教材を開発。現在は『道村式漢字カード』普及にむけて全国で講演活動を展開中。
<http://tenji-stenvel/>

江森：道村先生は視覚障害者の教育はもとより、視覚障害者の支援をする方にむけてのサポートという面でも素晴らしい功績を残しておられますが、そもそも視覚障害者の教育に携わったのはどのような経緯があったのでしょうか。

道村：私は大学を卒業したときに中学校の理科の教員免許をとりまして、中学校の先生になって、理科を教えて、ついでに「女バレ」の顧問になるのが夢だったんです。でもなんと最初の配属先が福井県の盲学校でした。夢はもろくも破れ「何で盲学校？免許もないし困ったな」と思いましたね。
江森：盲学校の先生は免許がなくてもできるのですか？

道村：盲教育、聾教育、養護教育など特殊な教育のための免許はあるのですが、一般の教員も配属しないと合わないのです。その後結婚を機に横浜に来たので、「よー

し、今度こそ中学校の先生に！」と意気込んでいたら、ちょうどどうまい具合に盲学校の理科教員が転勤になって1人分枠が空いたんですね、そこに福井の盲学校で教えてた私が来たものだから、盲学校に配属されて、そのまま16年です。

江森：盲学校での最初の取り組みが『点訳便利帳』ですか。

道村：先ほども言ったように私は盲教育の資格を持っていたわけではないので、点字なんて知らなかったんです。でも授業でも使っし、試験問題も作らなければならぬいし、なんとか覚えようと勉強したんですけど、その教本がまあ小難しい！（笑）。国語の用語がたくさん出てきて、理科教員の私としては点字以上に教本がわからない！でも覚えなきゃいけないから、点字の決まりを「理科的に」合理的に説明しようとしたのが『点訳便利帳』なんです。

江森：最初は自分のための資料だったんですね？

道村：そうです。でも私と同じように国語が苦手な教員だっているわけですよ。だからそういう人たちのためにも役に立てるのではないかと思って、学校内にグループを作って教員が点字学習するための教材を、教育委員会から予算をもらって作ったのがなんと35年前！そのとき協進印刷さんにお世話になったんですよ！

江森：そうでしたか！私なんてまだハナタレ小僧だった頃ですね（笑）。そんなに歴史があると恥ずかしいながら知りませんでした。今でも全国の盲学校の先生の役に立っているんですね。

道村：そうです。点訳ボランティアさんは専用の教育をみっちり受けるので、あの本は必要ないんです。ところが教員は何年かで転動してしまうし、専門的に勉強してい

る時間もないから、原理原則よりは実際に仕事ですぐに使えるノウハウが欲しいんですよ。

江森：『点訳便利帳』を仕上げたと思ったら、次に盲学校での漢字教育に取り組みられるわけですが、目の見えない子に漢字を教えるという、そもそも「意味あるの？」と思えるようなことにどうして取り組まれたのですか。

道村：これはパソコンの進化と関係があります。Windows 95の登場によって家庭や学校に急速にパソコンが普及していきましたが、それと同時に「読み上げソフト」というのが開発されて、視覚障害者でもパソコンが使えるようになったのです。それで文部省（当時）もすぐく力を入れて盲学校に「情報教育」が一気に広まりました。さらに点字タイプライターのように6つのキーで入力できるソフトが開発されるなど、



視覚障害者がパソコンを使う環境はどんどん良くなっていました。でもひとつだけ困ったことがあった。それが「漢字変換」です。

読み上げソフトは漢字変換のときも読み上げてくれます。例えば「共通」と変換するときは「共」の「トモ」「交通のツウ」などのように。でもそれが正しいかどうかかわからない。だって漢字教育を受けてないんだから。私は中学・高校を受け持っていたので、もうすぐ社会に出て行く子たちが、これじゃ困るなあと思って、よし！漢字教育だ！と、まずは漢字には音読みと訓読みがあるということを教えました。「通る」の音読みは「ツウ」で、「交通」とか「通学」とかに使われる漢字だから、とにかく覚えなさいと。

江森でも、漢字を見たことないわけだから、形で覚えるのではないんですね。スゴいなそれは…。

道村…それから家にあつた漢字辞典を調べて、中学までに習う漢字の音読みと訓読みと、それから子供たちにもわかる語例をた

くさん載せた千ページぐらいの資料を作りました。もう毎日毎日ひたすら調べましたよ。

江森…道村先生に教わりたかつたですね（笑）。盲学校に合計18年勤めた後、ついに憧れの中学教員を経験されて、また盲学校に、今度は小学部の先生として戻られました。そこでも「道村流」が発揮されたことと思います。

道村…5年生になると天気図を勉強します。点字の教科書にも一応「点図」で天気図が描いてあるのですが、もうぐちゃぐちゃで触ってもわかりません。子供たちもちっともわかつたような顔をしないから、天気図はやめてみんなで毎日テレビの天気予報を聞くことにしました。生徒が4人いたのでそれぞれ局を決めて聞き始めたら、昨日森田さんがあ言つてたから今日は雨なんだとか、天気の話ができるようになってきました。

そんなことを続けていたある日、ひとりの生徒が「天気予報が聞きづらい」と言ってきました。何が？と聞いたら、「あつちからこつちへ」とか「このあたりは大雨になっていきます」とか、どこだかわからないって言うんです。私も意識してなかつたけど、注意して聞いてみたら確かに指示語が多い。

それで、よし！みんなで手紙を書くつと、点字と墨字で書いた手紙を各局に送ったんです。その後もずっと天気予報は聞き続けていたのですが、しばらくたつたある日、NHKを聞いていた生徒が「先生、天気予報が変わつた」と言ってきました。見てみると確かに指示語が減っている。「東シナ海から北東に」とか「台湾から沖繩にかけて」とか場所や方向を言ってくれるように



なっていました。それからまたしばらくして、今度はなんとNHKのお天気キャスターの平井さんからお礼のハガキが届いたんです！それはすごい経験でしたね。

江森…中学生用につくった漢字学習用の教材を進化させて、小学1年生から中学生まで対応できるようにした『視覚障害者の漢字学習』は、財団法人から社会貢献助成金などを受けながら大変ご苦労されて完成させたと聞いています。

道村…前に中学・高校用の教材を作ったときは、とにかく覚えなさい！とお経を覚えさせるようにやりましたが、本当のことをいうと中学になってから漢字学習をやつたのでは遅いのです。なぜなら中学で出てくる漢字は、ほとんど小学生で習う漢字の部品の組み合わせだからです。だから小学生用を作ろうと思いましたが、何しろお金がない！（笑）。それでいろいろな財団の助成金に応募してお金をかき集めて1年に1学年分ずつを作って、準備段階から10年ぐらいかかってようやく6年生まで作ることができました。

江森…学校の先生をやりながらの作業ですから、大変なご苦労だったと思います。その後小学校に移られて、そこでようやく『道村式漢字カード』が出てくるわけですね。

道村…最初は4年生を受け持ったのですが、子供たちが漢字が嫌いなのに驚きました。盲学校の子のほうがよく楽しんで漢字学習してましたから。それで漢字の成り立ちを教えたり、漢字集めをしたりという仕掛けをしてみたら、子供たちが乗ってきて、1学期が終わる頃にはみんな漢字が大好きになつたんです。その学習法に校長が注目して、翌年度から全校でやるということになった。でも始めるには私が全学年分の資料を作らなきゃならないでしょ（笑）。やりましたよ、6学年分。それが『道村式漢字カード』の元になったのです。

江森…私も少し体験しましたが、使ってみるといかに画期的かわかりますね。

道村…これまでの常識では漢字学習は「書いて覚える」ものなんです。でも5年生ぐらいになつてくると文字が複雑になつてきて、頭のいい子は書いて覚えられても、真ん中から下の子たちにはもう無理なんです。だから5年生ぐらいから漢字の習得率がガクンと下がります。道村式は漢字を部品の組み合わせで覚えます。盲学校の子たちのようにイメージで覚えるから楽しいし、忘れないんです。

視覚だけでなく、様々な障害を抱えた子供たち一人一人と向き合ってきた経験が生きたのかなあと思っています。

江森…『道村式漢字カード』の目標は、

道村…今は体力的なことあつて教員を退いて『道村式漢字カード』の普及に専念しています。この教材を使ってみたいという先生がいれば、全国どこでも飛んで行って講習会をやっています。私の体力が続く限り、漢字が好きな子供を増やしていきたいです。



オンガクに、ありがとう

竹見正一



BOB MARLEY & The WAILERS "UPRISING"

「明日はやっと焼き肉たべられるわー」目の前でパクパクと白玉をほうばりながら、たまちゃんが忙しそうに言う。「おまえ天ーくってたやん、おととい」グリーンティーの氷をカラカラと回しながら僕が返す。チャーシュー抜きでした！って言うので、大量の豚骨スープはええんかいとは突っ込まず、よく我慢できました、と話を切った。そう、今夜は送り火。街を囲む山々に灯がともる。ご先祖はんが牛に乗って天へ戻る夜。ちゃんと天に戻れるよう、帰ってはる間は、四つ足の動物はたべられない。

食べ過ぎると塾でねむくなるからと、たまちゃんが僕に塩こぶを差し出す。抹茶が甘すぎたので、ひとつまみ噛み締める。なんかこのスイカに塩ふりかける感じ、うまいことやるなあ甘味屋は、と呷く。なんで急にスイカ？あほなん？と言われたので、すみませんと応え、もうひとつまみ口に運んだ。

あ！もうこんな時間！というたまちゃんの声に背中を押され、女子で埋め尽くされた店内から出ると、晩夏の熱気が街の喧噪と一緒に全身に絡んできた。皆楽しそうに歩いているように見える。この感じ、いいなあ、って思う。ただ、あの灯が消えるとどうしようもなく寂しい気持ちになるから嫌だ。街はいつでも高揚してほしい。うかれてほしい。街が静かだと、いろいろ鮮明になってしまうから。

今夜灯がともる山の方を見ながら歩いていると、ほなね、と肩を叩かれた。あわてて横を向くと、たまちゃんがカセットテープを胸元に突き出してきた。来週のパーティーで流れるから、とぐいぐい押し付け、受け取った僕がありがとうと言う間もなく、小走りで塾の階段を登って行った。その背中を見て、あ、髪切ったんや、って思った。

一人になった僕は、アイワのヘッドフォンを冠り、自販機でロング缶を買う、河原に停めておいた自転車にまたがって、上流の方へとペダルを踏み込んだ。軒を連ねる河にせり出した飲食店はすでに大賑わい。あと1時間もすれば日が落ちる。笑い声と空騒ぎで充滿する街。そう、この時間のこの道は最高！自転車が、風が、全てを切り裂いてくれる。僕はただただ北へ向かって足をかき回し、人が少なくなったところで、自転車を停めた。連なる大柳の下を少しだけ石垣に腰をおろし、ロング缶に手をかける。いいタイミングでヘッドフォンからリデンプションソング。屋に買った数枚の輸入レコードを取り出し、かるく鼻に寄せる。独特な盤の香りが気持ちを踊らせる。早く針を落としたい！家に帰るか、店に行くか。たまらなく興奮していたそのとき、頭の上から大声が落ちてきた。「おい、おまえ何飲んでんねん！」。見上げると1年の時に習った国語の先生。ああ、いよいよ退学かな、と思った瞬間、「まあええわ、おれ、もうセンセやないし。でもペンキョはせいよ、あとで効いてくるさかいに」そう言って、通り過ぎていった。ぼくは唖然と見送った。一言もしゃべらずに。小さくなる先生の後ろ姿を見て、思い出した。ああ、そうだ、この人、ビートルズが好きで、授業の合間に歌詞の和訳をたくさん教えてくれたんや。みんなには不評だったけど、ぼくはめっちゃくちゃ楽しみにしていた。音と違ってちょっと寂しかったペニーレイン、酔っぱらって聞いたら最高だけど重かったストロベリーフィールズフォエバー、すごく覚えています！ありがとうございます、先生！

すでに日は落ちてしまった。先生の姿は見えない。方々の山に灯がともる。新しいレコードは聞けないまま。

いつもちゃんと伝えられずに時が流れてしまう。いつも何もかも誰にも届けられない。灯が消える山々から目を背けたら、オートリパースでループするポブに、馬鹿は逃げ！と、頭を叩かれた。そして、自身の戦いの矮小さを知った。



ACE (エース) は、世界中のすべての子どもたちの権利が守られ、希望を持って安心して暮らせる社会を実現するため、市民と共に行動し、児童労働の撤廃と予防に取り組み国際協力NGOです。

児童労働とは、義務教育を妨げる労働や、法律で禁止されている18歳未満の危険・有害な労働のことで、世界には、義務教育を受ける年齢でありながら働くことを強いられ、将来への機会を奪われている子どもたちがまだ1億6千8百万人もいます。

昨年、国連総会で「持続可能な開発目標」が採択され、目標達成を図る指標のひとつに「2025年までに児童労働を終わらせる」ことが明記されました。世界的に解決すべき課題のひとつとして児童労働が取り上げられたいまこそ、私たちはその解決に向けて明確な意志を持ち、それぞれの立場から意識的に行動していく必要があります。

実は、児童労働問題は私たちと縁遠い別世界の話ではなく、チョコレートや綿の衣料品など私たちが日常的に使うもののなかには児童労働によって作られた素材を使っているものが数多く存在します。

ACEの主な活動内容としては、インドのコットン生産地やガーナの力カオ生産地で、子どもたちを危険な労働から守り、教育を推進する活動を行い、日本国内では、啓発活動や政府や企業への政策提言活動、また、ネットワークやソーシャルビジネスを通じて児童労働問題を解決するための取り組みなどを行っています。

啓発活動や政府や企業への政策提言活動、また、ネットワークやソーシャルビジネスを通じて児童労働問題を解決するための取り組みなどを行っています。

啓発活動や政府や企業への政策提言活動、また、ネットワークやソーシャルビジネスを通じて児童労働問題を解決するための取り組みなどを行っています。



最近、欧米の消費者の関心の高まりで児童労働に負担しない商品づくりが求められるようになり、企業を巻き込んだ取り組みの結果、児童労働の解消につながったケースが増えています。この問題への認識が国内でも深まり、行動の輪が広がっていくためにも、今後のACEの活動に期待します。

認定NPO法人ACE (エース) WEBサイト
<http://acejapan.org/>

公園

大口の魅力を紹介する「大口自慢」。今回は、大口を代表する3つの公園を紹介します。

1つめは、大口公園。ハトが多いことから「ハト公園」と呼ばれ、春にはお花見で賑わいます。シニア世代にとってはグラウンドゴルフの聖地ともなっていて、地域イベントも開催される大口七島地区の顔となる公園です。

2つめは、大口西公園。通称「口ケット公園」と呼ばれ、口ケットの形をした大きな滑り台が子供たちに大人気。災害時の弊社のいっとき避難場所でもあり、ここで行われる町内会の防災訓練には社員も参加します。

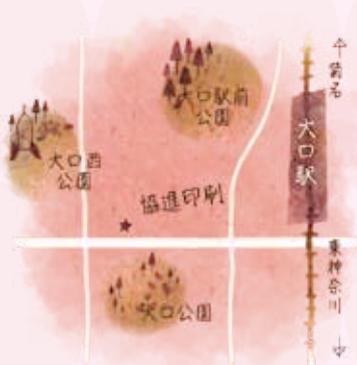


3つめは大口駅前公園。通称はありませんが、社長曰く昔は「山公園」と呼ばれていたそう。その名の通り大口駅前であり、遊び場が2段に分かれている珍しい公園です。上段は山公園の由来と思われる緑豊かな遊歩道。下段の広場はボール遊びが許可されていて男の子に人気です。

子供たちは年齢や遊びの種類によって公園を使い分けています。大人たちも季節やその日の気分です場所を変えて憩う、地元で愛されている3つの公園。お散歩がてら遊びに来てみませんか。



大口自慢



Kyoshin TODAY

メイクアップレッスンを実施

4月15日社内にて、メイクセラピストの森秀美先生をお招きして、女性社員対象の「自分を輝かせるメイク・職場に合ったメイクレッスン」を実施しました。

メイクは女性なら毎日することであるにもかかわらず自己流の場合が多く、きっかけがないと習うことも消極的になりがちです。そこで、新入社員には新人研修の一環として自分磨きと正しいメイク方法習得を、子育て中のママさんにはいつもと違うメイクでリフレッシュを目的にレッスンを実施しました。



3時間半のレッスンでは、各々に合ったメイク方法とスキンケア指導のほか、「自分がどんな印象で見られているのかを知る」ために、互いの印象を言い合い、周りの人が自分に対してどんな印象を持っているのかを知るというワークショップも行い、各々新しい発見があったようでした。

社員同士すっぴんを見せ合う気恥ずかしさもありませんが、終始和気あいあいとした雰囲気、レッスン後には顔だけでなく、心も華やいだ気分になりました。

神奈川県高齢者運転免許自主返納サポート制度に加盟しました

同制度については前号でも紹介しましたが、高齢者の勇氣ある運転免許証自主返納をサポートする協議会に加盟しました。当社では年賀状などの宛名書きを半額にする特典を提供

しています。様々な特典が受けられるこの制度を活用して、高齢者が運転免許証を返納することへの抵抗が少しでも和らぐお手伝いができればと思います。超高齢化社会に向け、安全で安心な地域づくりを目指していきたいと思えます。

神奈川県高齢者運転免許自主返納サポート協議会加盟・協力企業・団体一覧表

<https://www.police.pref.kanagawa.jp/mes/mest0225.htm>

グリーンプリンティング更新認定取得

平成19年に取得した日本印刷産業連合会のグリーンプリンティング（GP）認定制度の4回目となる審査を終え、6月16日に更新認定をいただきました。

GPは行政機関の環境基準であるグリーン購入法にも例示されているなど、印刷業向け環境関連認定としては、最も権威ある制度です。今回から労働環境やリスクコミュニケーションなども審査対象として追加され、資材対策や温暖化対策だけではなく、幅広い視点からの取り組みが求められるようになりました。

早いもので平成19年の初認定から丸9年が経過しましたが、今後もマナー化することなく、地球環境のためにひとつひとつ丁寧に努力してまいります。

2015年度 CO2 および産廃排出量・リサイクル量

項目	排出量	前年比
CO2	22.3t	75.6%
廃油	0.32t	128.0%
廃アルカリ	0.1t	100.0%
廃プラ	0.07t	100.0%
事業ゴミ	2300ℓ	71.9%

JO（ジェイ・オー）2016年7月号（第16号）
 発行者：株式会社協進印刷
 横浜市神奈川区大口仲町108番地
 TEL：045（431）6611
 FAX：050（3730）6273
 URL：http://www.kyoshin-pint.co.jp

